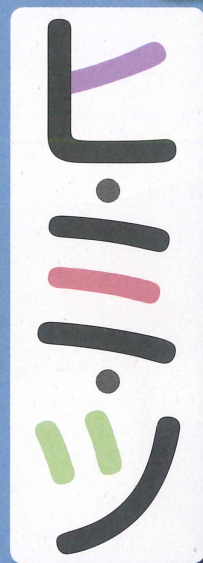


漢字

の



甲骨文字から楷書まで

開館時間

9:30~16:30 (入館は閉館の30分前まで)

休館日

月曜日

※ただし9月21日(月・祝)、10月12日(月・祝)は開館。9月24日(木)、10月13日(火)は休館

観覧料

一般・大学生 500円(300円)

高・中・小学生 250円(150円)

●()内は20名以上の団体料金

●毎週土曜日は台東区内在住・在学の小・中学生とその引率者の観覧料が無料です。

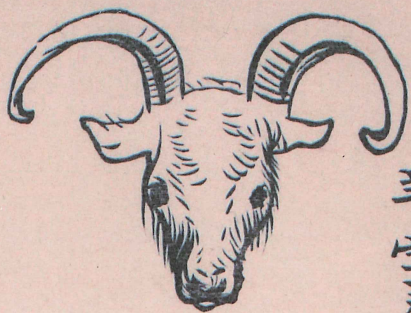
●障がい者手帳をお持ちの方、及びその介護者は無料です。



交通

●JR鶯谷駅北口下車 徒歩5分 ●台東区循環バス「北めぐりん」@入谷区民館根岸分館(書道博物館)下車 徒歩3分
※駐車場はありません

羊字之変遷



羊

漢 洗 鬼

羊

(小篆)

羊

隸

羊

不折



周 罍 (古) 象 形



周 罍



周 鼎 文



鼎 (籀文)

2015.8.1 土 — 11.15 日

前期 8月1日[土] - 9月27日[日]

後期 9月29日[火] - 11月15日[日]

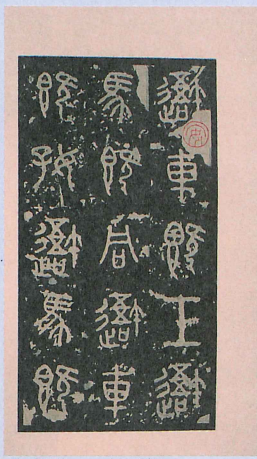


書道博物館
CALLIGRAPHY MUSEUM

主催 (公財) 台東区芸術文化財団
住所 〒110-0003 東京都台東区根岸2-10-4
電話 03(3872)2645
ウェブサイト <http://www.taitocity.net/taito/shodou/>

漢字のヒ・ミ・ツ

甲骨文字から楷書まで



後期 石鼓文-安国本-(戦国/紀元前5~紀元前4世紀頃) 展示



小克鼎 (西周/紀元前9世紀)



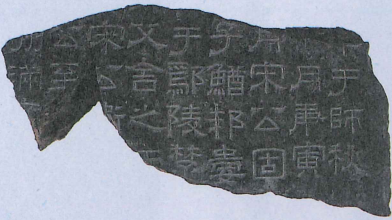
甲骨文字 (殷/紀元前13世紀)



前期 開通褒斜道刻石 (後漢・永平9年/66) 展示



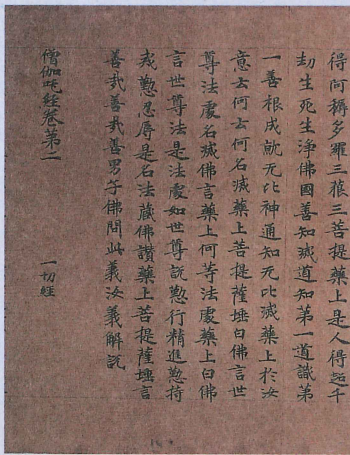
前期 泰山刻石-165字本- (秦/紀元前219) 展示



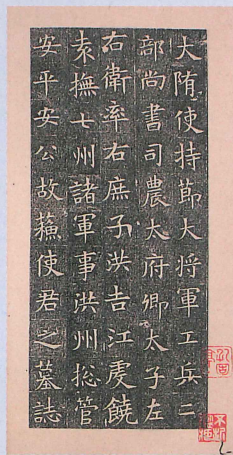
熹平石經殘石 (公羊春秋經) (後漢・熹平4年~光和6年/175~183) 展示

漢字のはじまりはいつごろで、どんな文字だったのでしょうか?どのような変遷をたどりながら、今の漢字の姿になったのでしょうか?漢字は、読みやすさや書きやすさ、そして美しさなどが模索されながら、その時代に最もふさわしい形で表現され、発展していきました。

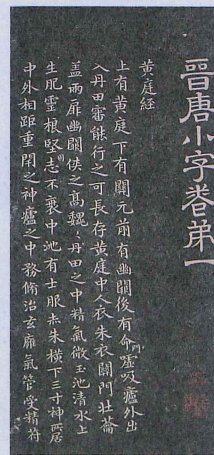
本展では、現存する最古の漢字といわれる甲骨文字から、現在我々が漢字の標準体として使用している楷書に至るまで、その書体の変遷と変化の妙を、書道博物館のさまざまな名品で紹介いたします。また、中村不折による漢字の変遷の挿絵などもあわせて展示いたします。みなさんも、本物の考古資料で漢字のヒ・ミ・ツを解き明かしてみませんか?



前期 僧伽吒經卷第二 (隋・大業12年/616) 展示



後期 蘇慈墓誌銘 (隋・仁寿3年/603) 展示



後期 王羲之・黄庭經 (東晋・永和12年/356) 展示

関連事業

- キッズセミナー
「漢字のヒ・ミ・ツ」(事前申込制)
日時: 8月9日(日)
①11:00~
- ギャラリートーク
「漢字の歴史」(事前申込制)
日時: 9月20日(日)
②10:00~ ③13:30~
10月25日(日)
④10:00~ ⑤13:30~

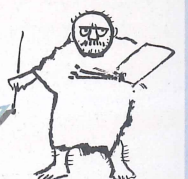
定員: 事前申込制・各回20名。往復はがきの「往信用裏面」に、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、年齢、希望日時、「返信用表面」に郵便番号、住所、氏名を明記して下記までお申込下さい。1通のハガキで1名・1回の申込みとなります。聴講無料。ただし当日の観覧料が必要です。

申込先: 〒110-0003台東区根岸2-10-4
台東区立書道博物館「ギャラリートーク係」
または「キッズセミナー係」

締切: ①8月4日(火)、②③9月8日(火)
④⑤10月13日(火) 必着

ワークショップ

いろんな漢字を書いてみよう!



会場: 台東区立書道博物館
日時: 9月20日(日)、10月25日(日)
いずれも開館時間中随時
※参加費100円(材料費)が必要です。